

＜学生版＞ 求職者の動向・意識調査 2018

株式会社リクルートジョブズの調査研究機関「ジョブズリサーチセンター」では、求職者の動向や意識を調査するために隔年で「求職者の動向・意識調査」を実施しています。本調査は、その「求職者の動向・意識調査」の学生版として、高校生・大学生等に在学中のアルバイト・パートに関する動向や意識についてアンケートを行いました。

1. 回答者プロフィール	3
性別／年齢／居住地／職業／婚姻状況と同居家族／小遣い・仕送りの有無／個人年収／就業意向／仕事の目的	
2. 仕事探しの実態	7
最近1年間の仕事探し経験（新卒以外）／仕事探し当時の就業状況／仕事探しをした理由／仕事探しをした最大の理由 仕事の決定状況／仕事探しにかけた期間／仕事が決まらなかった理由／利用した求人情報源 応募につながった求人情報源／採用（内定）につながった求人情報源／今後利用したい求人情報源	
3. 探した仕事の就業条件	13
探した仕事の就業形態／最も探した仕事の就業形態／探した仕事の契約期間 探した仕事の業種／探した仕事の職種（大分類・小分類）／避けていた職種（大分類） 探した仕事の勤務日数（週あたり）／探した仕事の勤務時間（1日あたり・週あたり）／探した仕事の通勤時間 探した仕事の最低時給／仕事を探した時の重視点（絶対条件）	
4. 1年以内の就業実態	19
1年以内の就業状況／1年以内の仕事の就業継続状況／1年以内の仕事の業種 1年以内の仕事の職種（大分類・小分類）／1年以内の仕事の勤務日数（週あたり） 1年以内の仕事の勤務時間（1日あたり・週あたり）／1年以内の仕事の通勤時間 1年以内の仕事の時給／1年以内の仕事の満足度	

調査概要

	学生版 求職者の動向・意識調査 2018
調査目的	- 労働市場における学生アルバイト・パートの就業実態および意識を明らかにする - 学生のアルバイト・パートに関する求職実態および意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査（インテージ社モニター利用）
対象者条件	- 全国 15～29歳の男女 - 現在の職業が 大学院生、大学生（昼間）、大学生（夜間）、短大生、予備校生、専門学校・各種学校生、高校生 のいずれかの人 ※高校生以外を「大学生等」として集計した。
調査期間	2018年3月29日（木）～3月31日（土）
有効回答数	3,261人

※ レポート内のグラフと数表は、集計結果の小数点第2位を四捨五入して表示している。

回答者の内訳（人）	全体	性別		年齢		
		男性	女性	15-19歳	20-24歳	25-29歳
全体	3,261	932	2,329	1,666	1,490	105
大学生等	2,315	723	1,592	723	1,487	105
高校生	946	209	737	943	3	0

参考調査

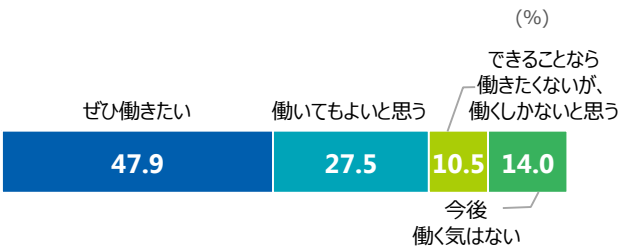
一部コメントでは、下記調査の結果を参照した。

- 求職者の動向・意識調査 2017 基本報告書（2017年調査）・・・他年代との比較に使用
http://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20171030_723.html
- 2013年4月発行 求職者データレポート・全国版（2013年調査）・・・過去との比較に使用
http://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20130401_41.html

主な調査結果

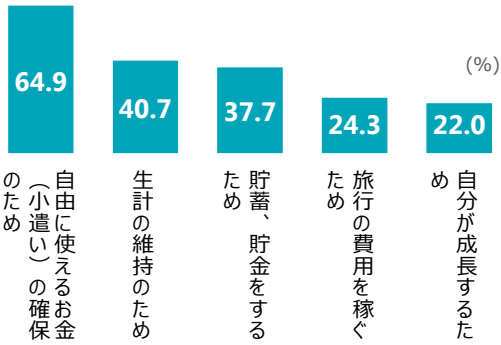
■ 就業意向（単一回答）【対象者：全員】 → p.6

在学中の今後の就業意向を聞くと、「ぜひ働きたい」が約半数、「働いてもよいと思う」が3割弱、「できることなら働きたくないが、働かれないと思う」が約1割だった。特に大学生等の女性、「ぜひ働きたい」が5割を超えている。



■ 仕事の目的（複数回答）【対象者：全員】 → p.7

仕事の目的を聞くと、「自由に使えるお金（小遣い）の確保のため」が最も多く、64.9%だった。次いで「生計の維持のため」が約4割で、特に大学生等で割合が高くなっている。金銭面以外では、「自分が成長するため」「視野を広げるため」などが上位にあがった。



■ 最近1年間の仕事探し経験（新卒以外）（複数回答）【対象者：全員】 → p.7

最近1年間（2017年4月～2018年3月）に新卒以外の仕事探しをした経験があるのは、回答者全体の26.8%。大学生等では28.4%、高校生では22.7%だった。

大学生等	高校生
28.4%	22.7%

■ 探した仕事の職種（小分類）（複数回答）【対象者：仕事を探した人】 → p.15

希望した職種を見ると、上位3項目は、大学生等、高校生どちらも「コンビニ・スーパー店員」「ホールスタッフ（飲食店のウェーター・ウェイトレス）」「ファーストフード店店員」だった。大学生等では「塾講師、家庭教師、採点、通信教育」や「一般事務、スタッフ職」が上位に入るのが特徴的といえるだろう。

大学生等		高校生	
1	コンビニ・スーパー店員	1	コンビニ・スーパー店員
2	ホールスタッフ（飲食店のウェーター・ウェイトレス）	2	ファーストフード店店員
3	ファーストフード店店員	3	ホールスタッフ（飲食店のウェーター・ウェイトレス）
4	塾講師、家庭教師、採点、通信教育	4	その他フード関連（洗い場、レジなど）
4	一般事務、スタッフ職	4	イベントスタッフ（ナレーター含む）

■ 1年以内の就業状況（単一回答）【対象者：全員】 → p.19

仕事探しをしなかった人を含めた全員に、最近1年（2017年4月～2018年3月）でアルバイト・パートなどの仕事をしたことがあるかを聞くと、大学生等の約8割、高校生では5割弱が「ある」との回答だった。

大学生等	高校生
78.7%	48.6%

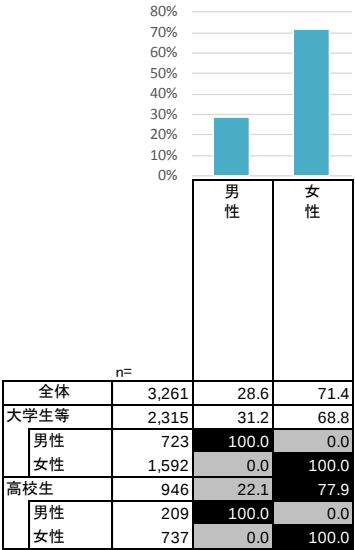
■ 1年以内の仕事の満足度（単一回答）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】 → p.24

仕事への満足度は、多くの項目で「とても満足していた」または「まあ満足していた」とした割合が約7割にのぼった。アルバイト・パートをしている学生は事前にイメージしていた働き方ができている場合が多く、満足度が高いのではないだろうか。

「総合的に」満足
68.2%

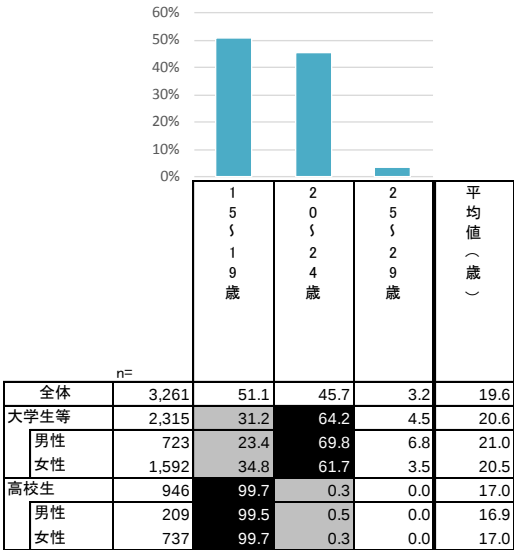
1-1 性別（単一回答）【対象者：全員】

回答者の性別は、下のグラフのとおり。女性の割合が高く、約7割となっている。



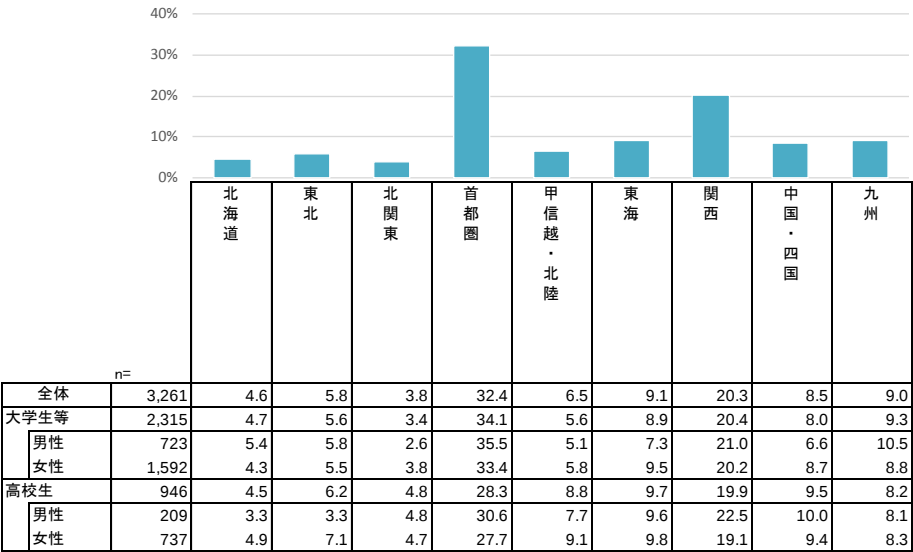
1-2 年齢（数値回答）【対象者：全員】

回答者の年齢は、下のグラフのとおり。高校生は99%以上が「15～19歳」、大学生等は6割強が「20～24歳」となっている。



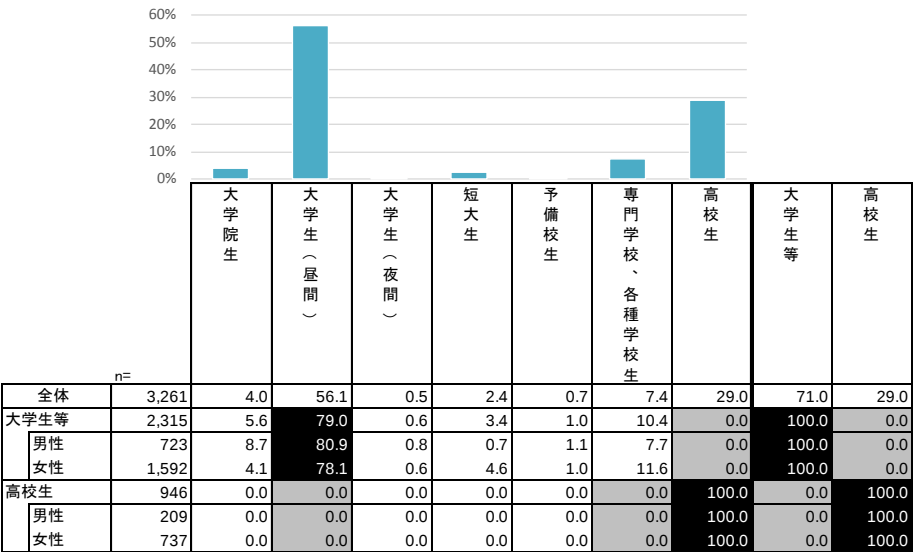
1-3 居住地（単一回答）【対象者：全員】

回答者の居住地は、「首都圏」が最も多く約3割。次いで「関西」が約2割となっている。



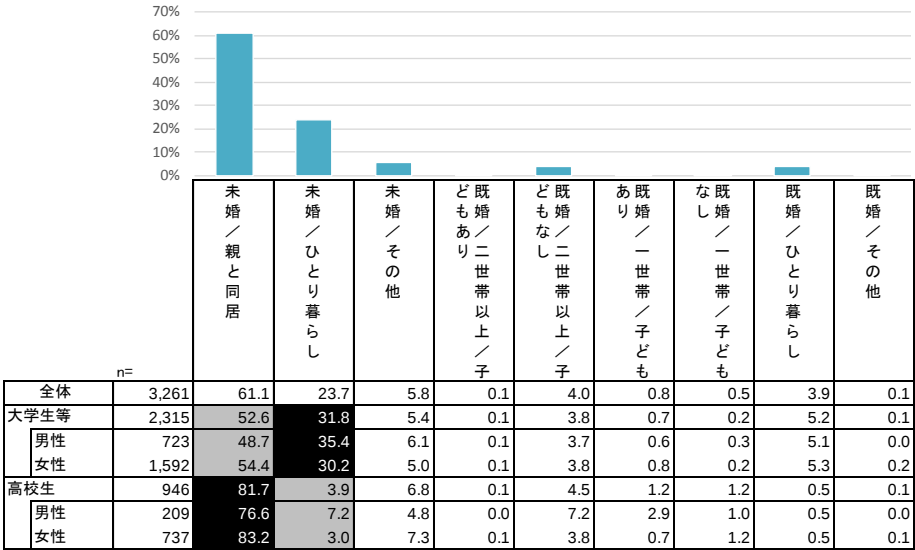
1-4 職業（単一回答）【対象者：全員】

回答者の職業は、下のグラフのとおり。分析軸の「大学生等」には、「大学生（昼間）」のほか、「大学院生」「大学生（夜間）」「短大生」「予備校生」「専門学校、各種学校生」が含まれる。



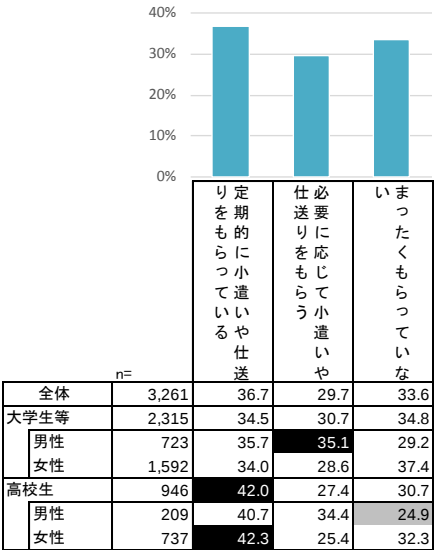
1-5 婚姻状況と同居家族（単一回答）【対象者：全員】

婚姻状況と同居家族を見ると、高校生は約8割が「未婚／親と同居」だった。大学生等では約5割が「未婚／親と同居」、約3割が「未婚／ひとり暮らし」となっている。



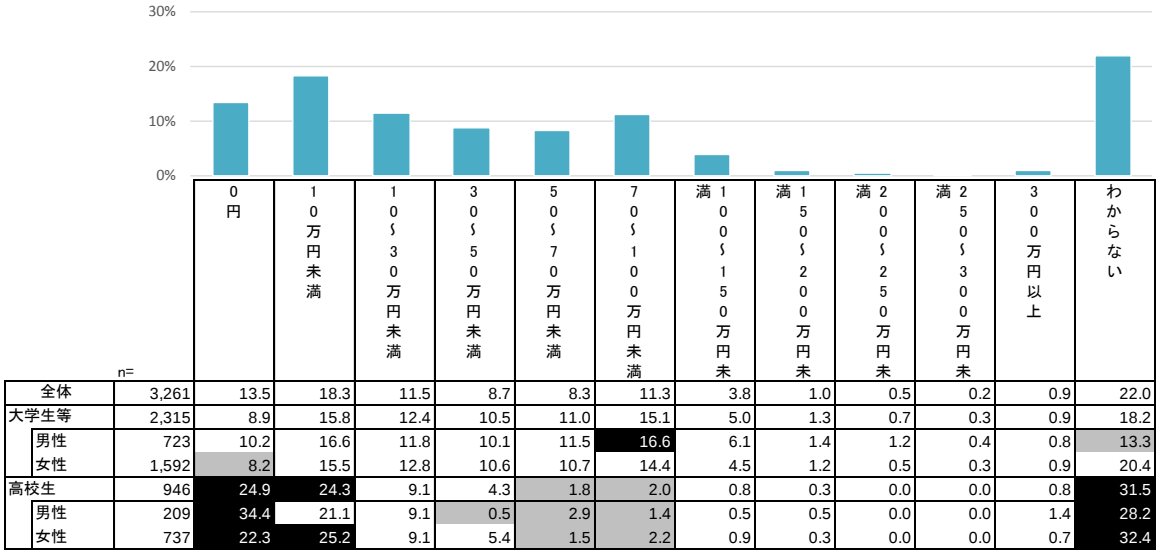
1-6 小遣い・仕送りの有無（単一回答）【対象者：全員】

小遣いや仕送りの有無について、「定期的に小遣いや仕送りを受けている」のは高校生の約4割、大学生等の3割強。「まったくもらっていない」という割合は、男性よりも女性の方が高くなっている。



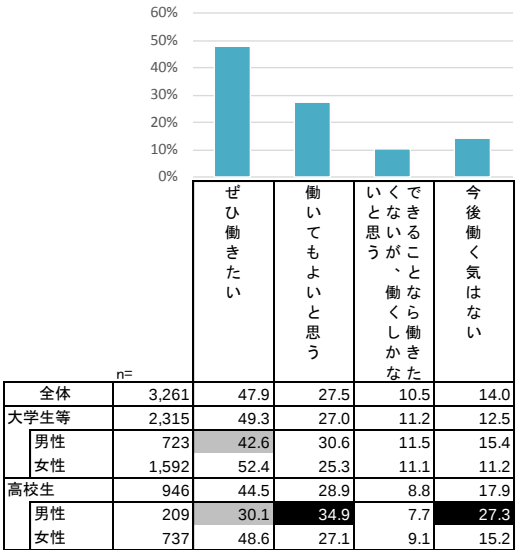
1-7 個人年収（単一回答）【対象者：全員】

個人年収は、高校生では「0円」または「10万円未満」が合わせて半数近くだった。大学生等では「0円」から「70～100万円未満」までがそれぞれ10～20%前後となっている。



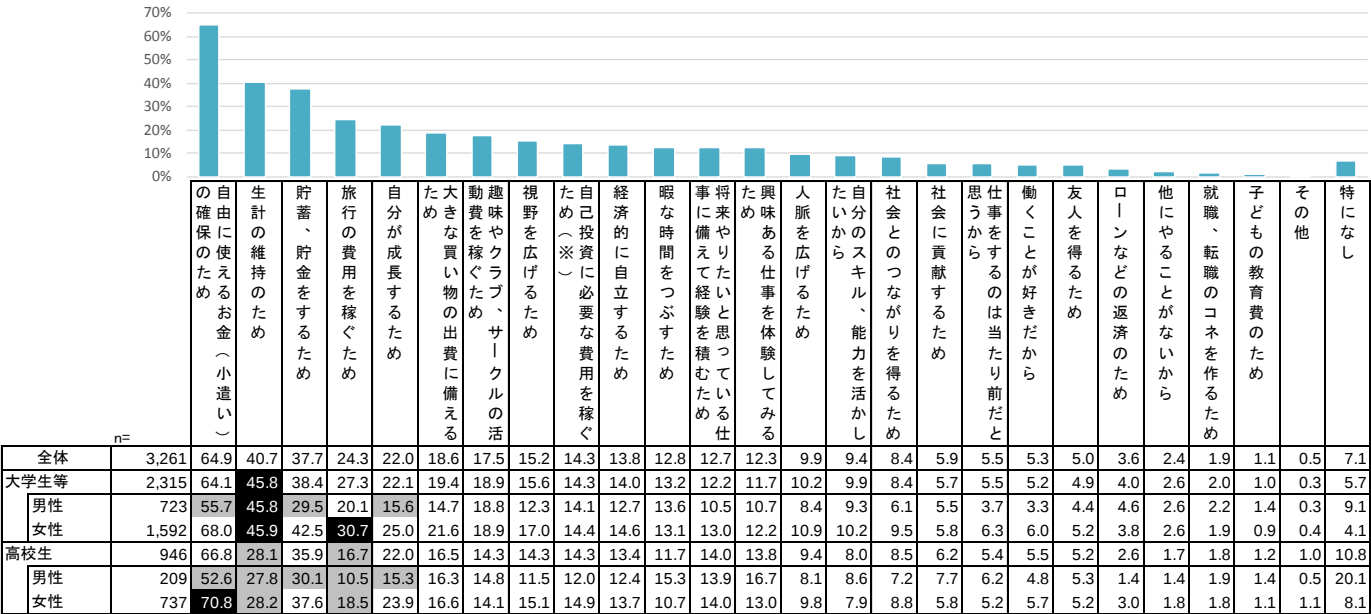
1-8 就業意向（単一回答）【対象者：全員】

在学中の今後の就業意向を聞くと、「ぜひ働きたい」が約半数、「働いてもよいと思う」が3割弱、「できることなら働きたくないが、働くしかないと思う」が約1割だった。特に大学生等の女性は、「ぜひ働きたい」が5割を超えている。



1-9 仕事の目的（複数回答）【対象者：全員】

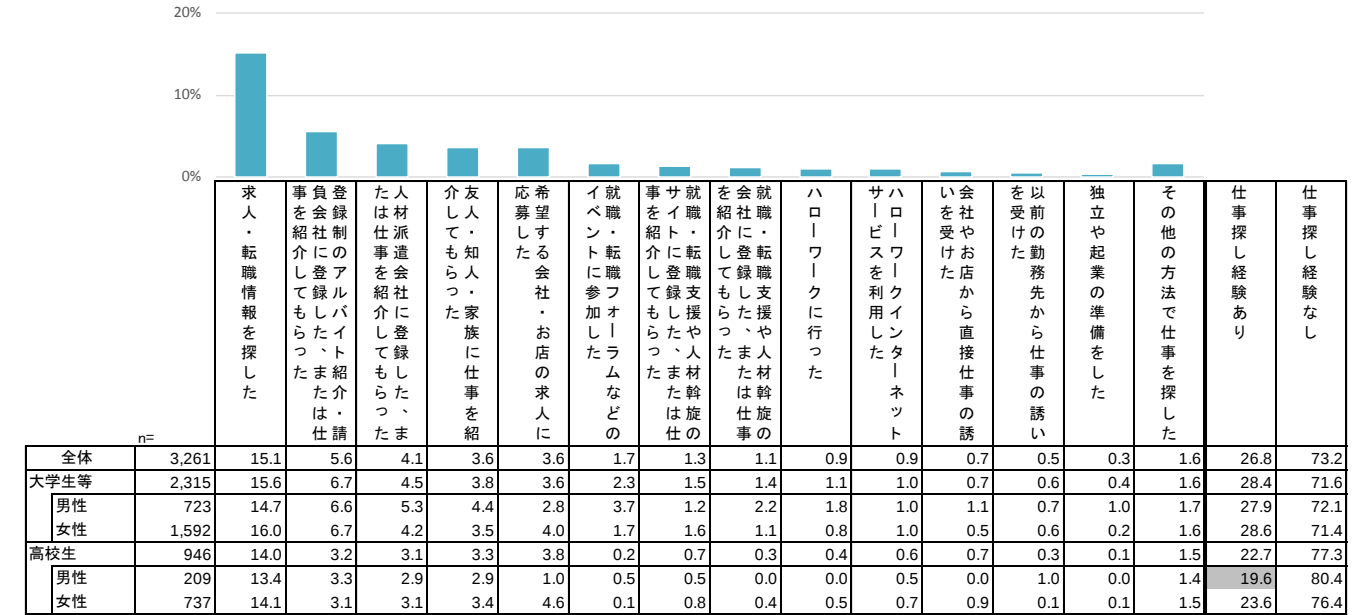
仕事の目的を聞くと、「自由に使えるお金（小遣い）の確保のため」が最も多く、64.9%だった。次いで「生計の維持のため」が約4割で、特に大学生等で割合が高くなっている。金銭面以外では、「自分が成長するため」「視野を広げるため」などが上位にあがった。



※勉強やスクールの学費、パソコン購入など

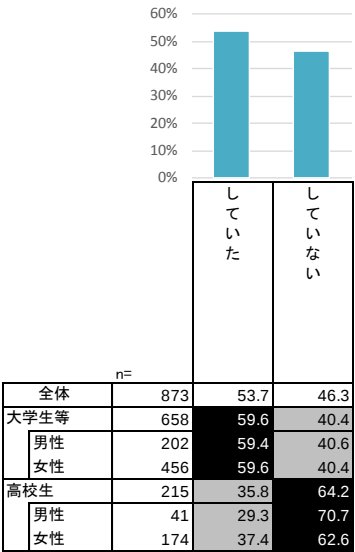
2-1 最近1年間の仕事探し経験（新卒以外）（複数回答）【対象者：全員】

ここからは、最近1年間の仕事探し経験について見ていく。最近1年間（2017年4月～2018年3月）に新卒以外の仕事探しをした経験があるのは、回答者全体の26.8%。大学生等では28.4%、高校生では22.7%だった。活動内容としては「求人・転職情報を探した」が最も多くなっている。



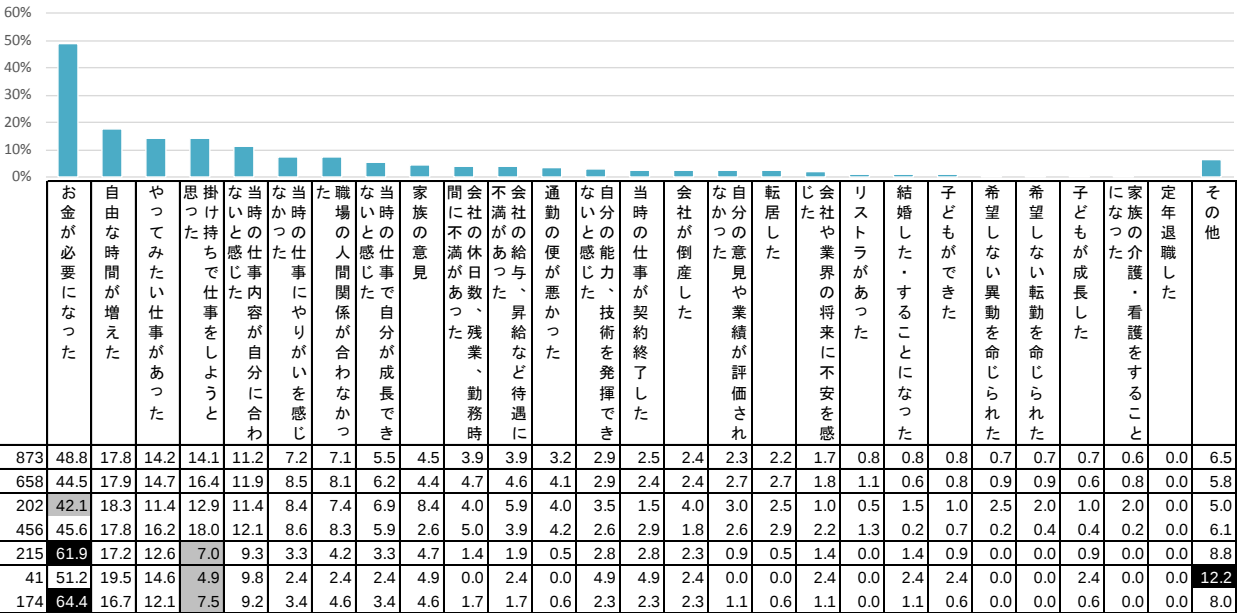
2-2 仕事探し当時の就業状況 （単一回答）【対象者：仕事を探した人】

新卒以外の仕事探しをした人に、その当時にアルバイト・パートの仕事をしていたかを聞くと、大学生等の約6割は「していた」との回答だった。一方、高校生は6割強が「していない」と回答した。大学生等では、アルバイト・パートの変更や掛け持ちのために仕事探しをする割合が比較的高いことがわかる。



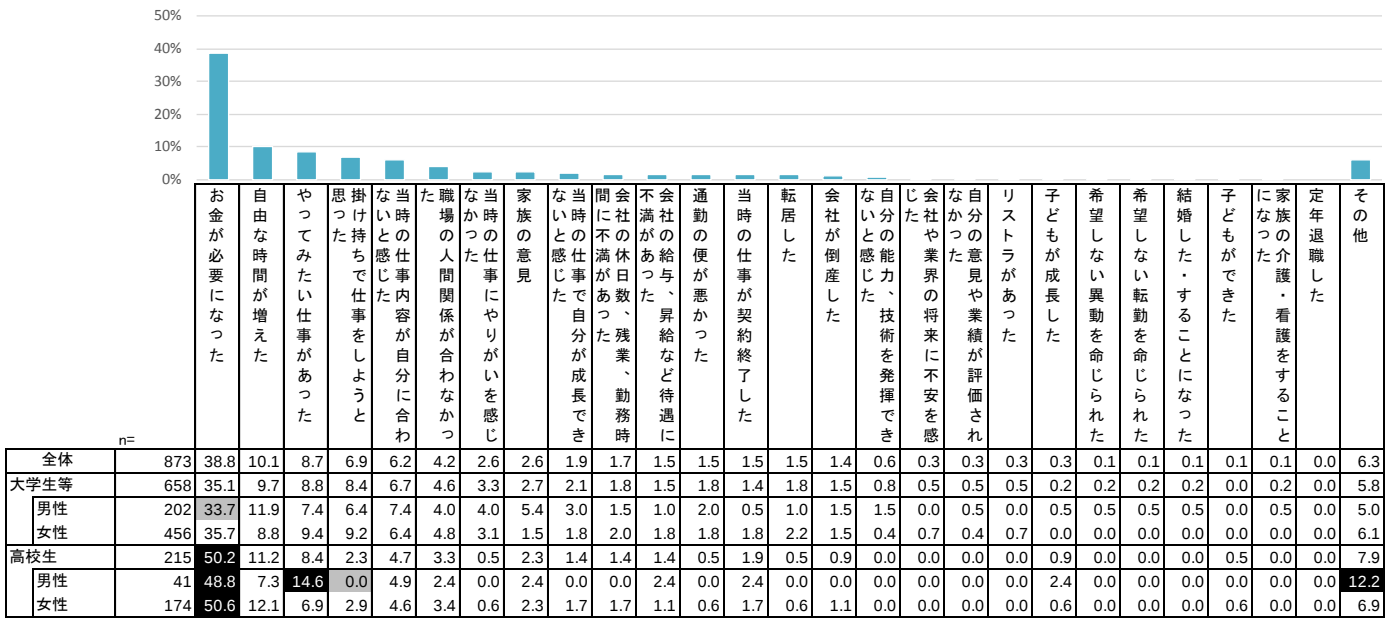
2-3 仕事探しをした理由 （複数回答）【対象者：仕事を探した人】

新卒以外の仕事探しをした人にその理由を複数回答で聞くと、「お金が必要になった」が約半数で最も多い。「自由な時間が増えた」「やってみたい仕事があった」「掛け持ちで仕事をしようと思った」などがそれに続く。



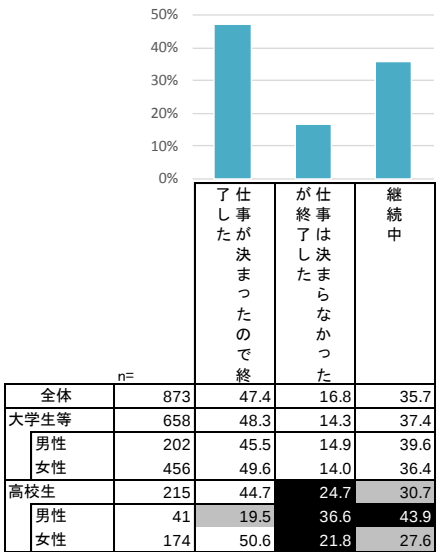
2-4 仕事探しをした最大の理由（単一回答）【対象者：仕事を探した人】

最大の理由も「お金が必要になった」が最も多く、次いで「自由な時間が増えた」「やってみたい仕事があった」などとなっている。



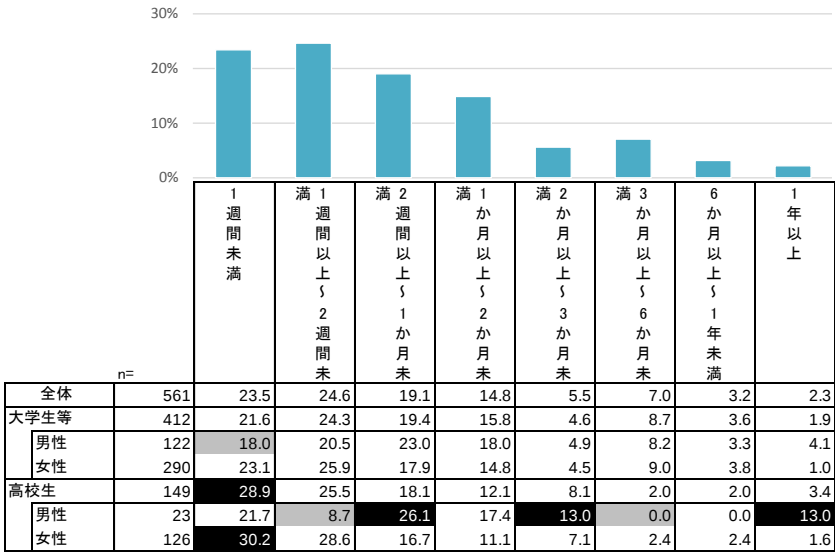
2-5 仕事の決定状況（単一回答）【対象者：仕事を探した人】

仕事探しの結果、「仕事が決まったので終了した」は47.4%、「仕事は決まらなかったが終了した」は16.8%。決まらずに終了した割合は2017年調査の求職者全体の数値（15.4%）と同程度だが、高校生では24.7%と高めている。



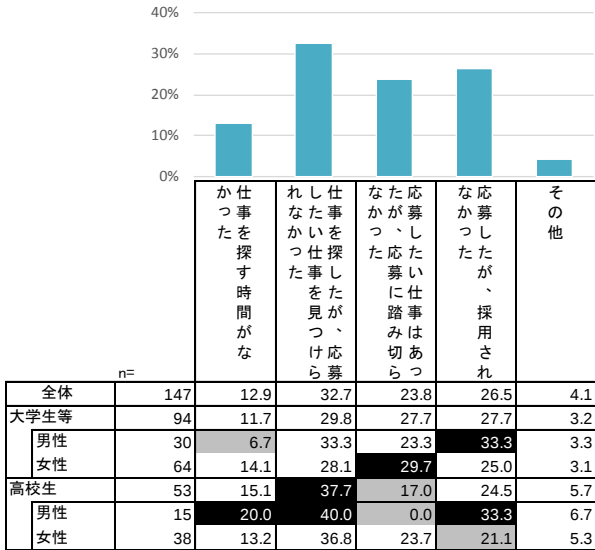
2-6 仕事探しにかけた期間（単一回答）【対象者：仕事探しを終了した人】

仕事探しを終了した人（決まった人も決まらない人も含む）が仕事探しにかけた期間は、「1週間以上～2週間未満」が24.6%、「1週間未満」が23.5%。高校生の女性は「1週間未満」の割合が他よりも高くなっている。
※一部の分析軸はサンプル数が30に満たないため参考値とする。



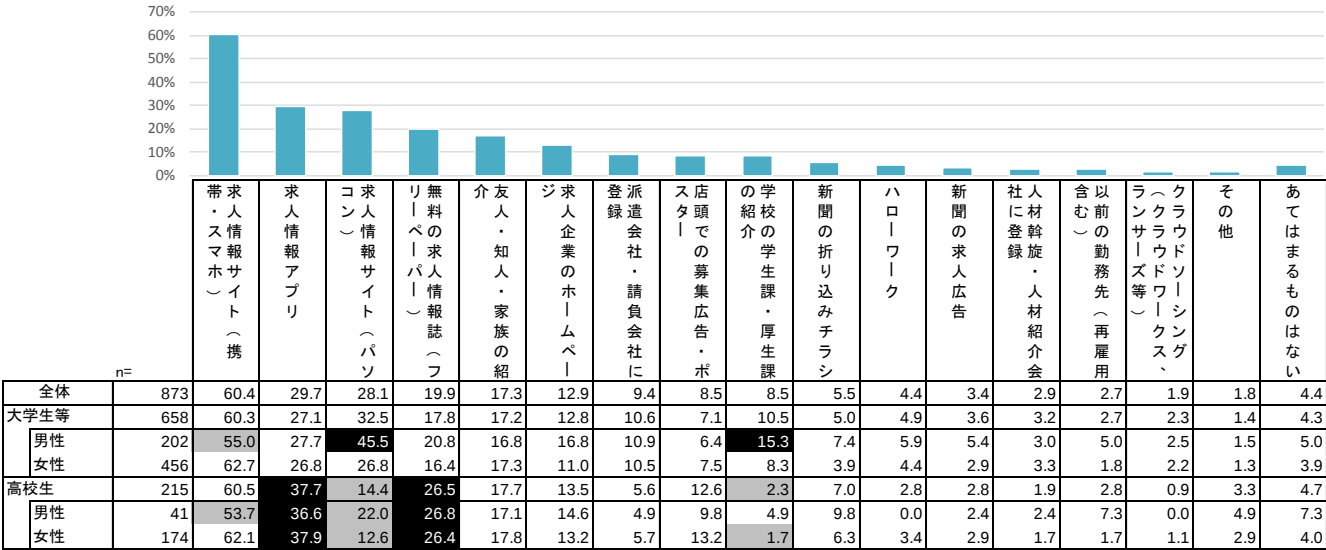
2-7 仕事が決まらなかった理由（単一回答）【対象者：仕事は決まらなかったが仕事探しを終了した人】

仕事が決まらなかった理由は、「仕事を探したが、応募したい仕事を見つけられなかった」が32.7%で最も多い。また、「応募したが、採用されなかった」も26.5%で、2017年調査の求職者全体の数値（15.5%）より高くなっている。仕事が決まった人の割合は高い一方で、学生が応募する仕事は限られているため、人気の求人に応募が集中しているのかもしれない。
※一部の分析軸はサンプル数が30に満たないため参考値とする。



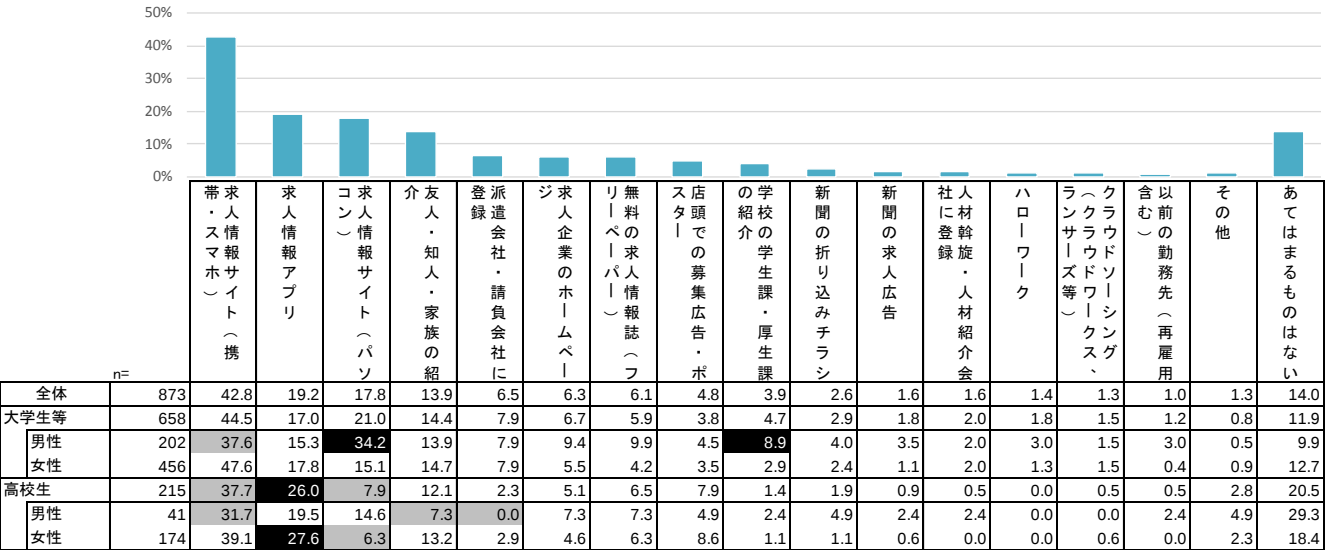
2-8 利用した求人情報源 （複数回答）【対象者：仕事を探した人】

新卒以外の仕事探しをした人が利用した求人情報源は、「求人情報サイト（携帯・スマホ）」が約6割、「求人情報アプリ」約3割、「求人情報サイト（パソコン）」3割弱など。高校生では「求人情報アプリ」「無料の求人情報誌（フリーペーパー）」の割合が高くなっている。大学生等の男性では、「求人情報サイト（パソコン）」「学校の学生課・厚生課の紹介」が他より多くなっている。



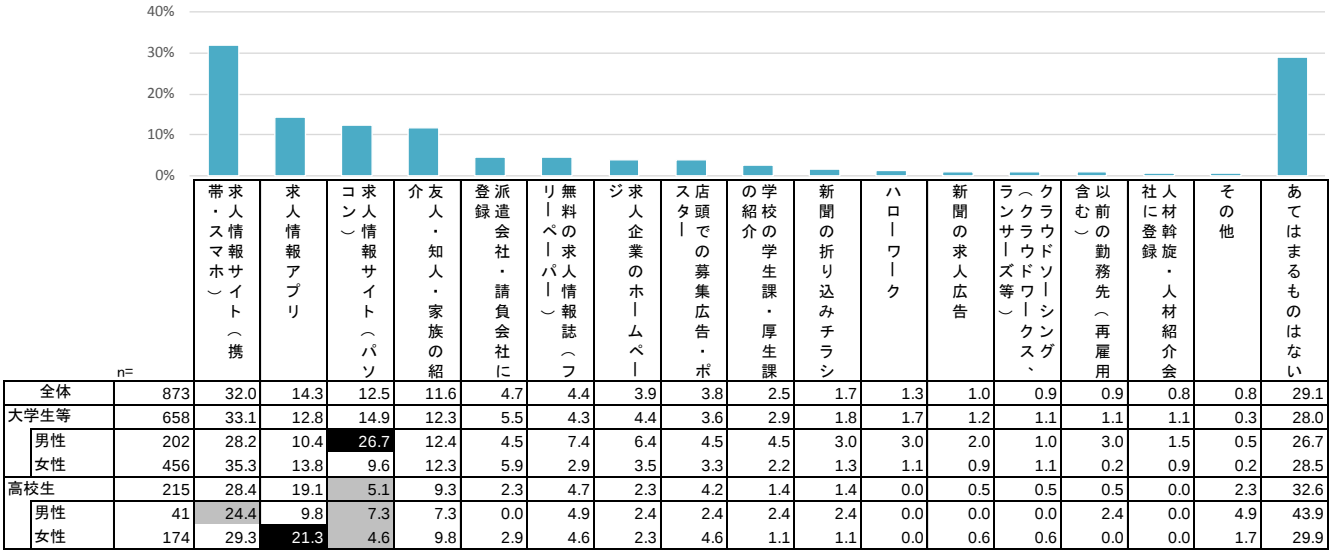
2-9 応募につながった求人情報源 （複数回答）【対象者：仕事を探した人】

応募につながった求人情報源は、「求人情報サイト（携帯・スマホ）」が約4割、「求人情報アプリ」「求人情報サイト（パソコン）」が約2割などとなっている。



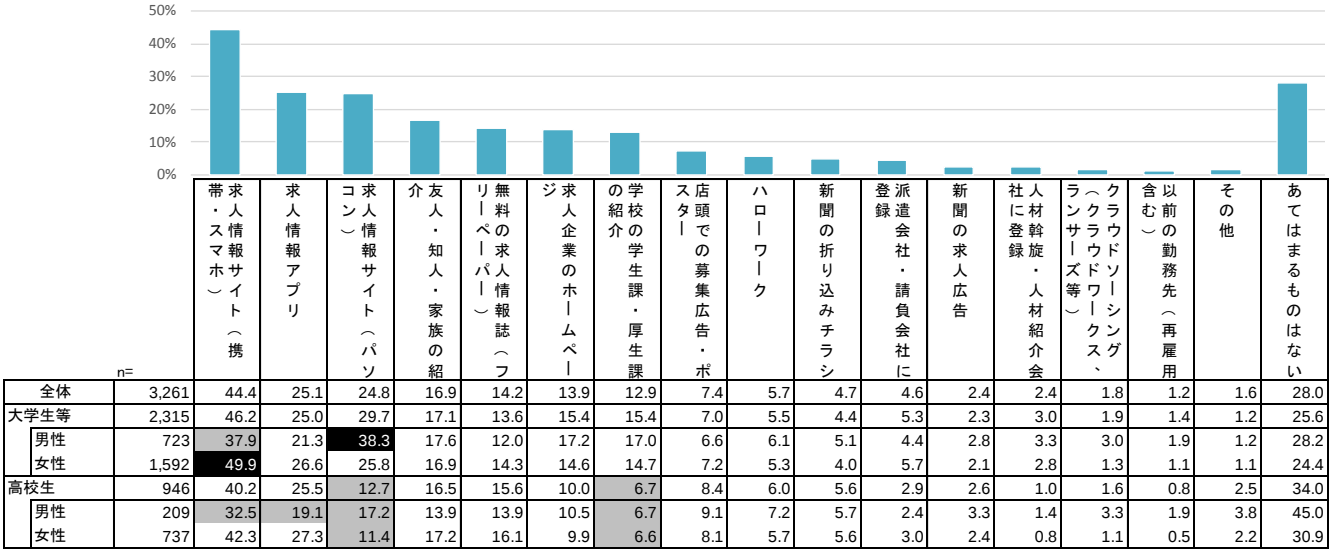
2-10 採用（内定）につながった求人情報源（複数回答）【対象者：仕事を探した人】

採用（内定）につながった求人情報源は、「求人情報サイト（携帯・スマホ）」が約3割で最も多く、次いで「求人情報アプリ」「求人情報サイト（パソコン）」「友人・知人・家族の紹介」などとなっている。



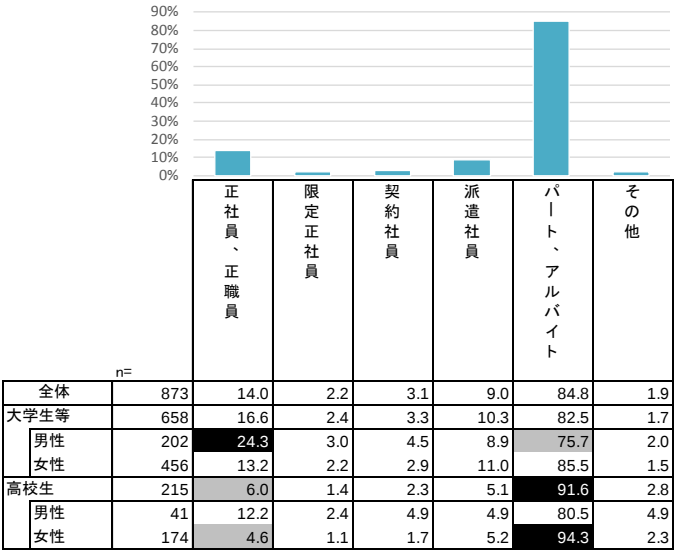
2-11 今後利用したい求人情報源（複数回答）【対象者：全員】

今後利用したい求人情報源は、「求人情報サイト（携帯・スマホ）」が4割強で最も多く、「求人情報アプリ」「求人情報サイト（パソコン）」などが続く。



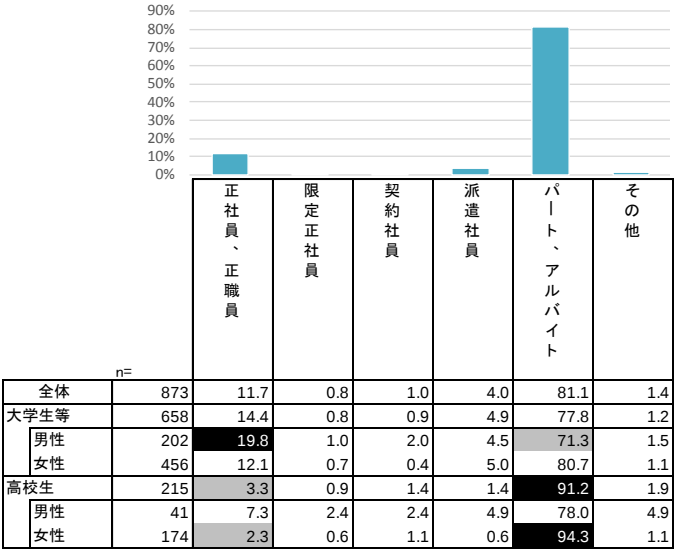
3-1 探した仕事の就業形態 （複数回答）【対象者：仕事を探した人】

ここからは、新卒以外の仕事探しをした学生が探した仕事はどのようなものだったかを見ていく。まず探した就業形態について複数回答で聞くと、8割強が「パート、アルバイト」で探していた。



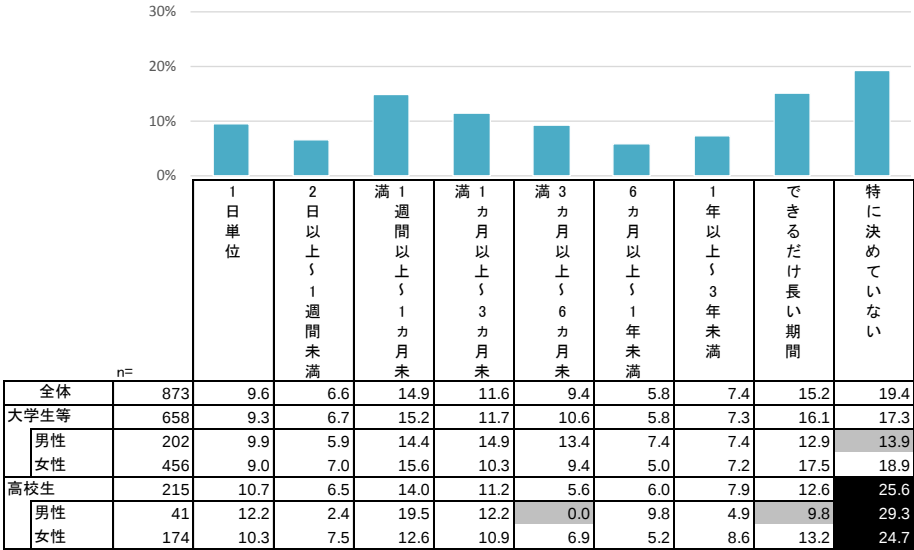
3-2 最も探した仕事の就業形態 （単一回答）【対象者：仕事を探した人】

最も希望していた就業形態も、「パート、アルバイト」が最も多く約8割だった。



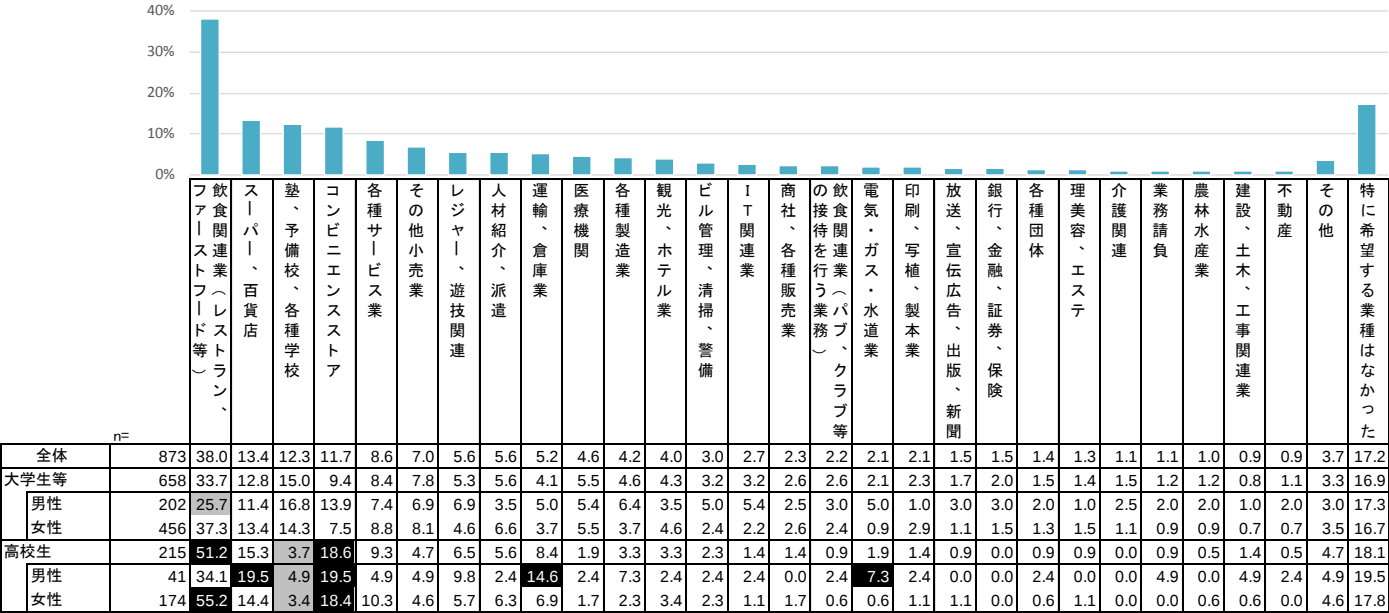
3-3 探した仕事の契約期間 (単一回答)【対象者：仕事を探した人】

探した仕事の契約期間を聞くと、「特に決めていない」が19.4%で最も多く、次いで「できるだけ長い期間」が15.2%となっている。また、「1週間以上～1か月未満」が14.9%など、限られた期間の仕事を探した人もいる。夏休みなどの期間でアルバイト・パートを探した人もいと
考えられる。



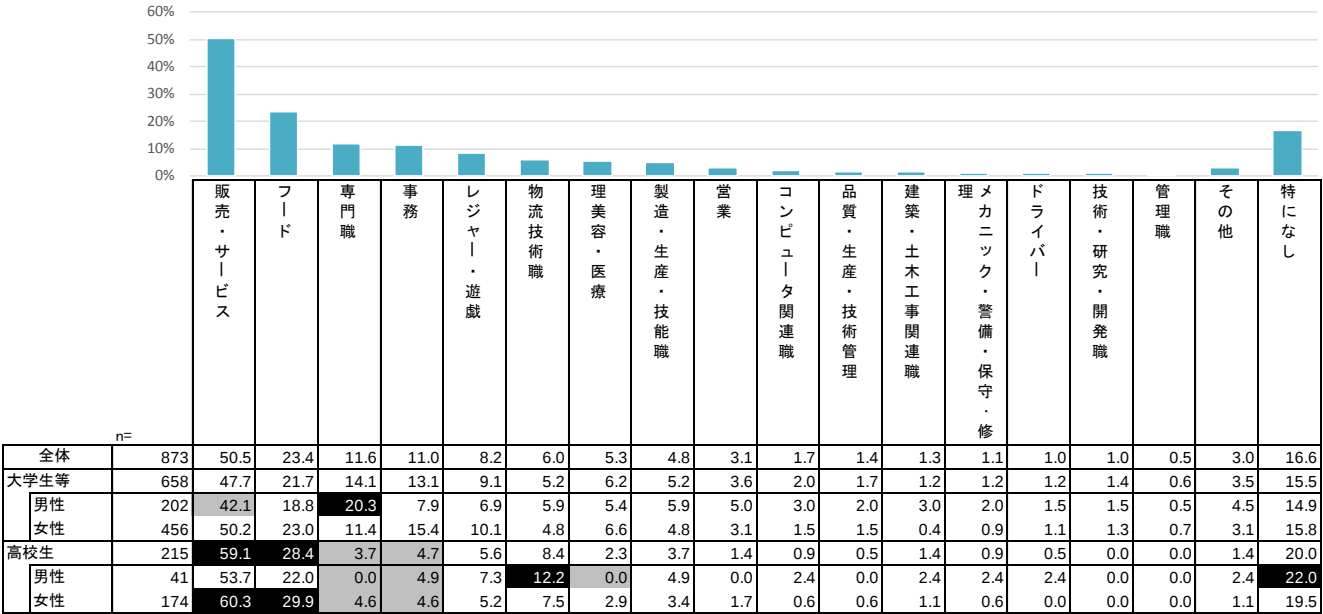
3-4 探した仕事の業種 (複数回答)【対象者：仕事を探した人】

探した仕事の業種で上位にあがったのは、大学生等では「飲食関連業」「塾、予備校、各種学校」「スーパー、百貨店」、高校生では「飲食関連業」「コンビニエンスストア」「スーパー、百貨店」などだった。



3-5 探した仕事の職種（大分類）（複数回答）【対象者：仕事を探した人】

希望した職種で上位にあがったのは、大学生等では「販売・サービス」「フード」「専門職」（家庭教師などを含む）「事務」、高校生では「販売・サービス」「フード」「物流技術職」（倉庫内軽作業などを含む）だった。



3-6 探した仕事の職種（小分類）（複数回答）【対象者：仕事を探した人】

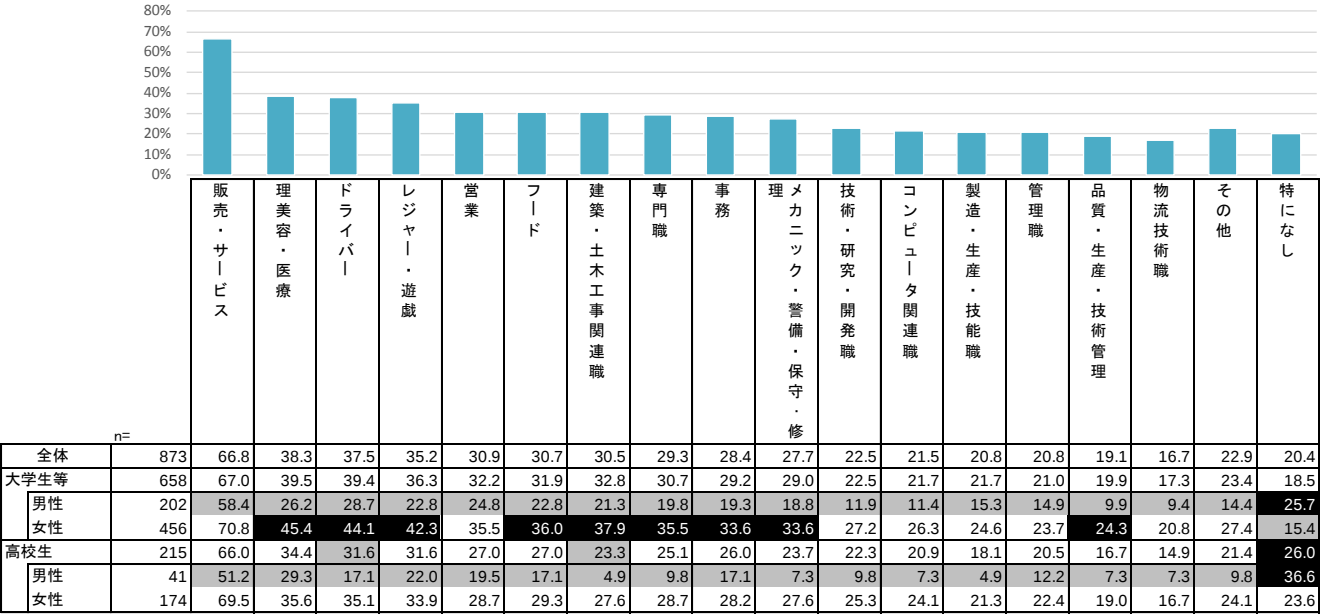
希望した職種をより細かい分類で見ると、下の表のようになった。（上位15項目のみ。）上位3項目は、大学生等、高校生どちらも「コンビニ・スーパー店員」「ホールスタッフ（飲食店のウェ이터・ウェイトレス）」「ファーストフード店店員」だった。大学生等では「塾講師、家庭教師、採点、通信教育」、高校生では「イベントスタッフ（ナレーター含む）」が上位に入るのが特徴的といえるだろう。

大学生等（n=658）	(%)
コンビニ・スーパー店員	18.2
ホールスタッフ（飲食店のウェ이터・ウェイトレス）	16.9
ファーストフード店店員	15.0
塾講師、家庭教師、採点、通信教育	11.6
一般事務、スタッフ職	11.6
雑貨・小物販売	11.2
書店員	10.0
その他フード関連（洗い場、レジなど）	7.6
イベントスタッフ（ナレーター含む）	7.4
弁当・惣菜店店員	6.8
その他販売店員	6.7
ホールスタッフ（カラオケ、ゲームセンター、パチンコなど）	6.1
衣類販売（アパレル）	5.5
レンタル店店員（ビデオ・DVDレンタルなど）	5.3
在庫・商品管理、構内物流作業	5.2

高校生（n=215）	(%)
コンビニ・スーパー店員	27.0
ファーストフード店店員	24.7
ホールスタッフ（飲食店のウェ이터・ウェイトレス）	17.7
その他フード関連（洗い場、レジなど）	12.6
イベントスタッフ（ナレーター含む）	12.6
雑貨・小物販売	12.1
書店員	9.3
在庫・商品管理、構内物流作業	8.4
弁当・惣菜店店員	7.4
調理人、コック	7.0
遊園地、テーマパークのスタッフ	6.5
レンタル店店員（ビデオ・DVDレンタルなど）	6.0
清掃、ビルメンテナンス	5.1
衣類販売（アパレル）	4.7
一般事務、スタッフ職	4.2

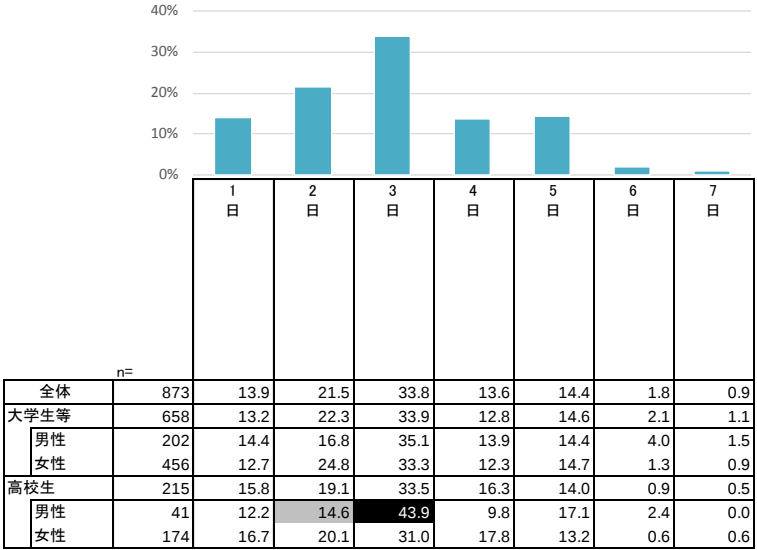
3-7 避けていた職種（大分類）（複数回答）【対象者：仕事を探した人】

仕事探しの際に避けていた職種を聞くと、「販売・サービス」66.8%、「理美容・医療」38.3%、「ドライバー」37.5%などだった。



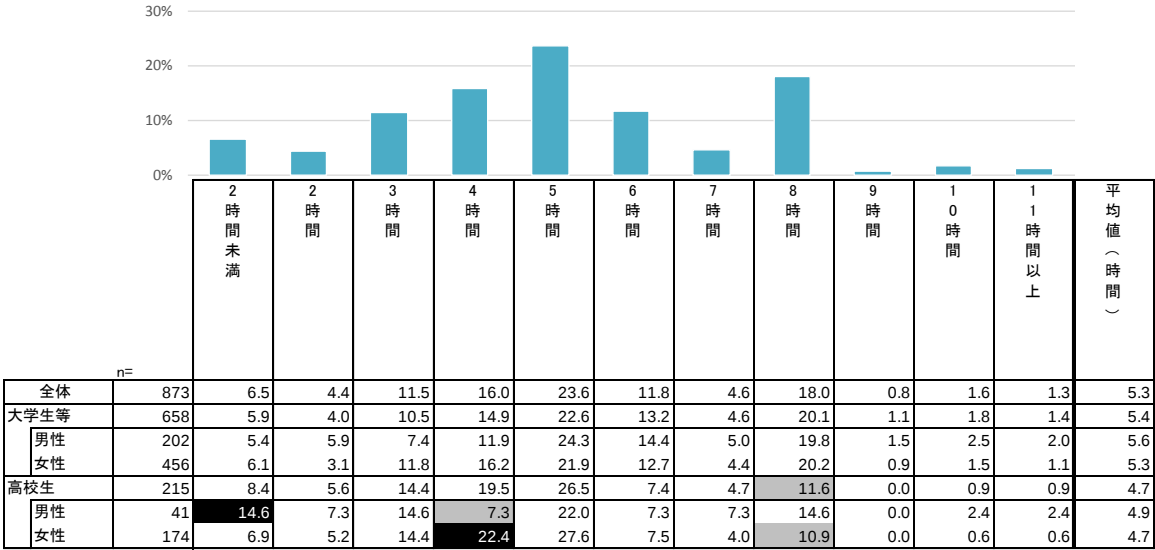
3-8 探した仕事の勤務日数（週あたり）（単一回答）【対象者：仕事を探した人】

希望していた週あたりの勤務日数は、「3日」が約3分の1で最も多く、次いで「2日」が多くなっている。



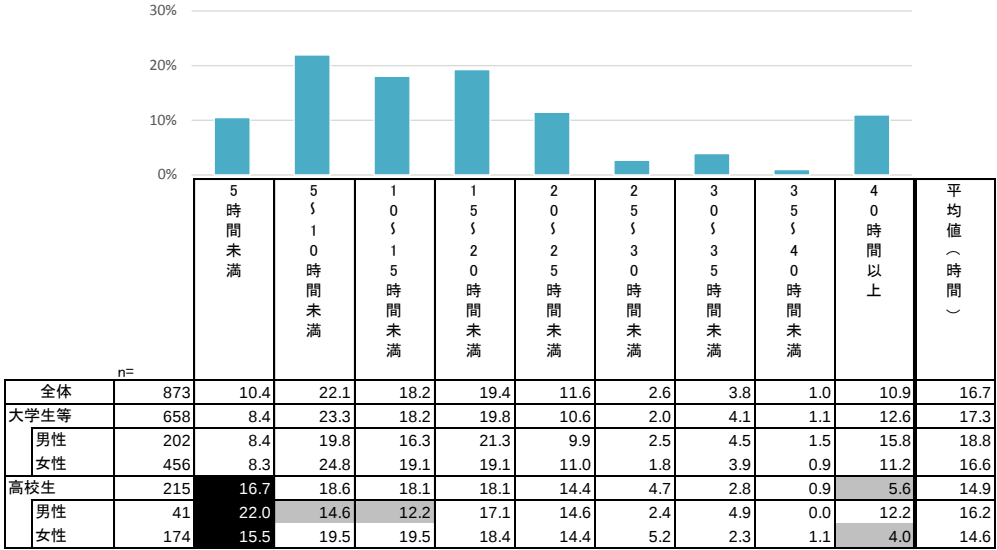
3-9 探した仕事の勤務時間（1日あたり）（数値回答）【対象者：仕事を探した人】

希望していた1日あたりの勤務時間数は、「5時間」が2割強で最も多い。「8時間」を希望した人も2割弱いる。大学生等は、高校生に比べて希望した勤務時間数が多い傾向がある。



3-10 探した仕事の勤務時間（週あたり）（数値回答※）【対象者：仕事を探した人】

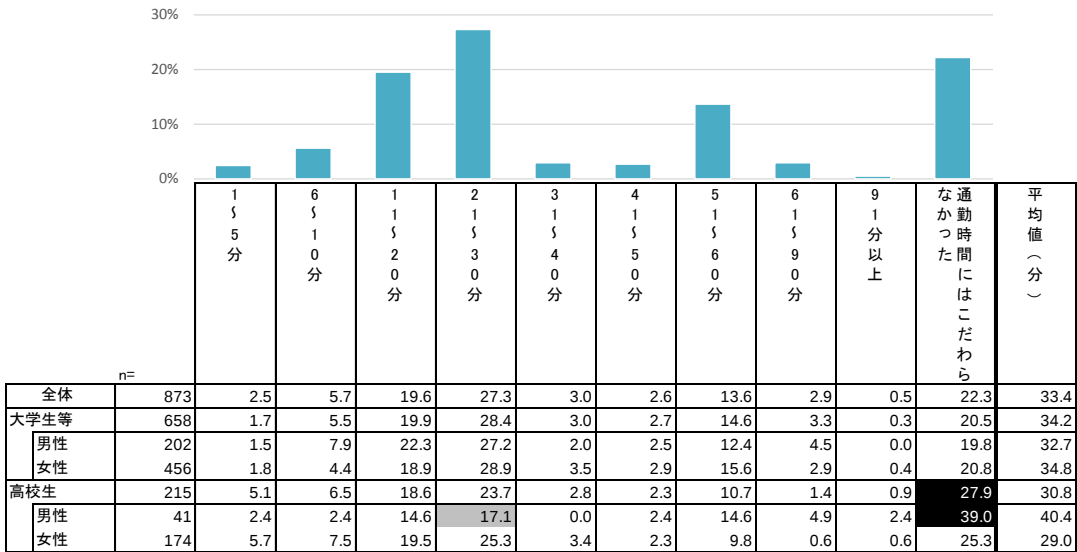
希望した週あたりの勤務日数と1日あたりの勤務時間から、週あたりの勤務時間を算出した。5～20時間程度を希望している人が多いことがわかる。



※希望した週あたりの勤務日数と1日あたりの勤務時間から、週あたりの勤務時間を算出

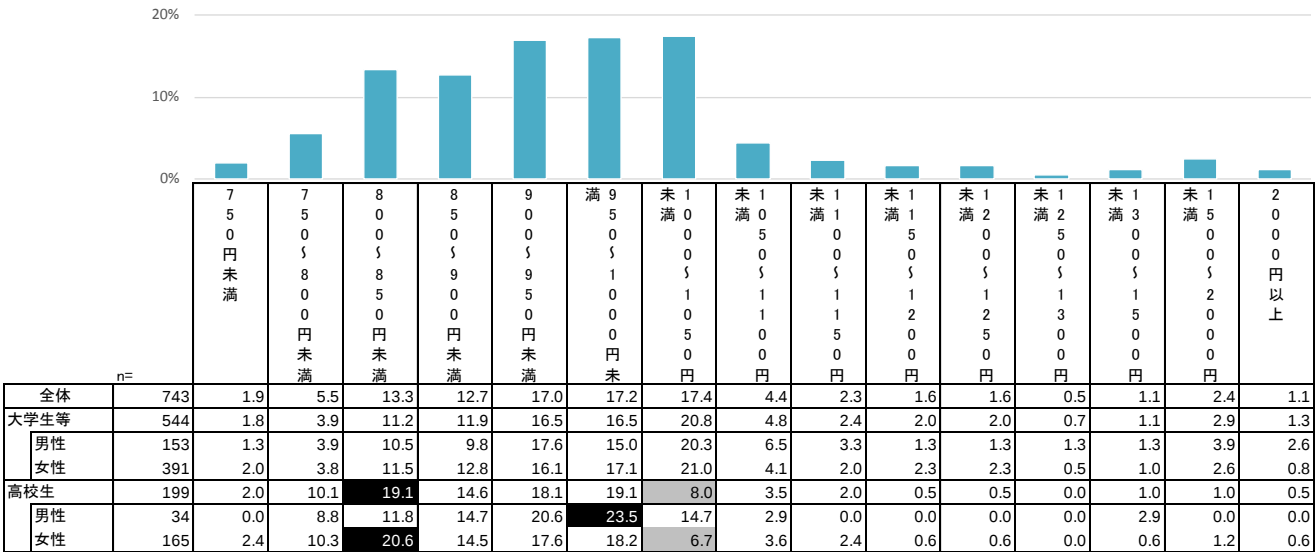
3-11 探した仕事の通勤時間 （数値回答）【対象者：仕事を探した人】

仕事を探した際の許容できる通勤時間は、「21～30分」が3割弱、「11～20分」が約2割。「51～60分」という人も13.6%いるものの、30分以内で探した人が多い。



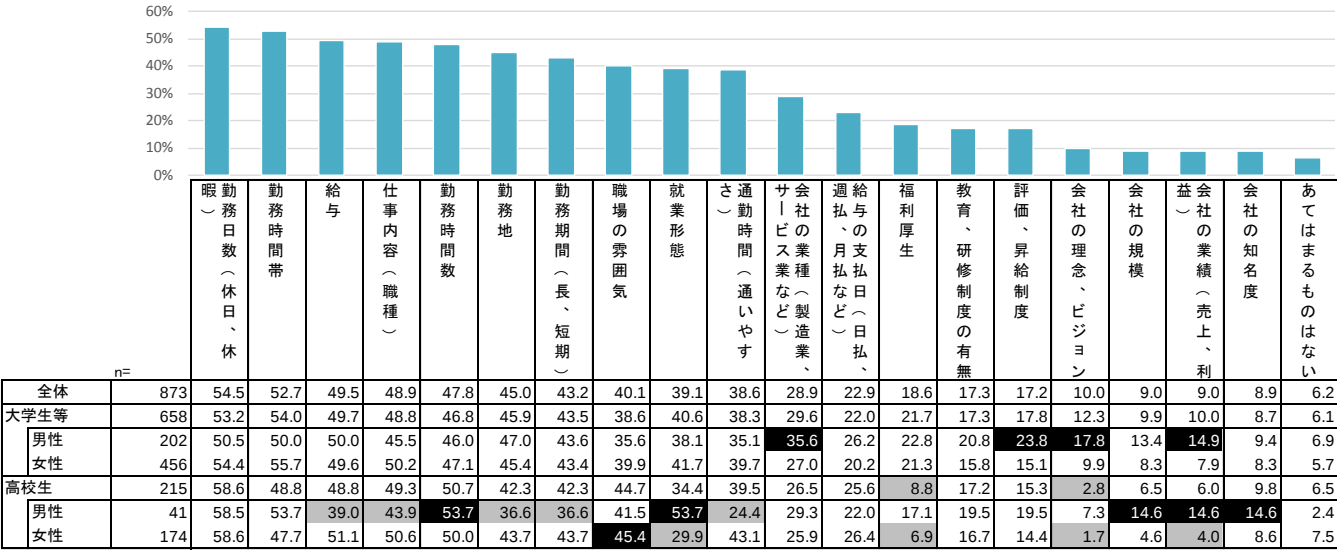
3-12 探した仕事の最低時給 （単一回答）【対象者：最も探していた就業形態が派遣かパート・アルバイトの人】

アルバイト・パートか派遣で仕事を探した人の希望最低時給は、「1000～1050円未満」「950～1000円未満」「900～950円未満」という人がそれぞれ約17%だった。高校生では「800～850円未満」も約2割いる。2013年調査と比べると金額が上がっており、最低賃金の引き上げや、人材不足による時給アップの影響が出ていると推測される。



3-13 仕事を探した時の重視点（絶対条件）（単一回答※）【対象者：仕事を探した人】

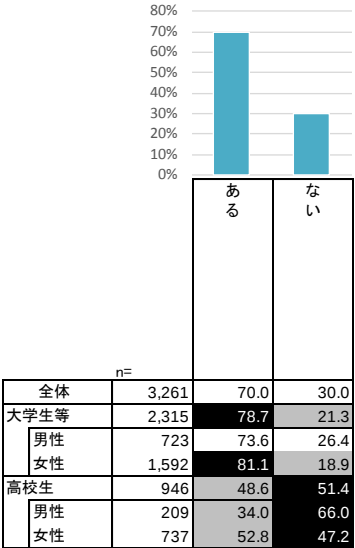
仕事を探した時に絶対条件だったというものについて見ると、「勤務日数（休日、休暇）」「勤務時間帯」が特に重視されていることがわかる。学校の時間割などに合わせて仕事を探していると考えられる。



※「絶対条件だった」「他の条件がよければ我慢した」「もともと関心がなかった」のうち、「絶対条件だった」を選択した人の割合

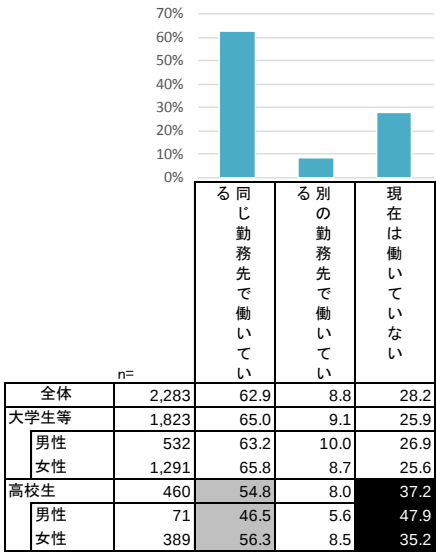
4-1 1年以内の就業状況（単一回答）【対象者：全員】

仕事探しをしなかった人を含めた全員に、最近1年（2017年4月～2018年3月）でアルバイト・パートなどの仕事をしたことがあるかを聞くと、大学生等の約8割、高校生では5割弱が「ある」との回答だった。どちらも男性よりも女性の方が仕事をした割合が高い。



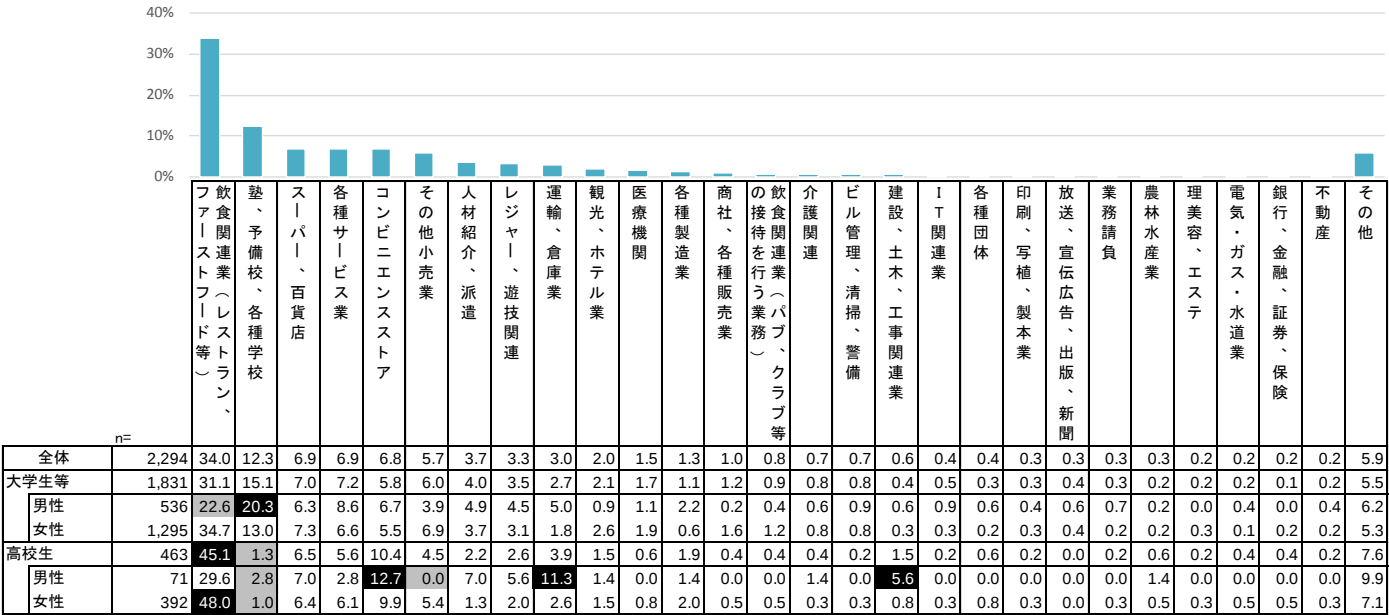
4-2 1年以内の仕事の就業継続状況（単一回答）【対象者：1年以内就業者】

最近1年間にアルバイト・パートなどの仕事をしたことがある人に、その仕事は現在（2018年3月）も継続中かを聞くと、大学生等では65.0%、高校生では54.8%が「同じ勤務先で働いている」と回答した。



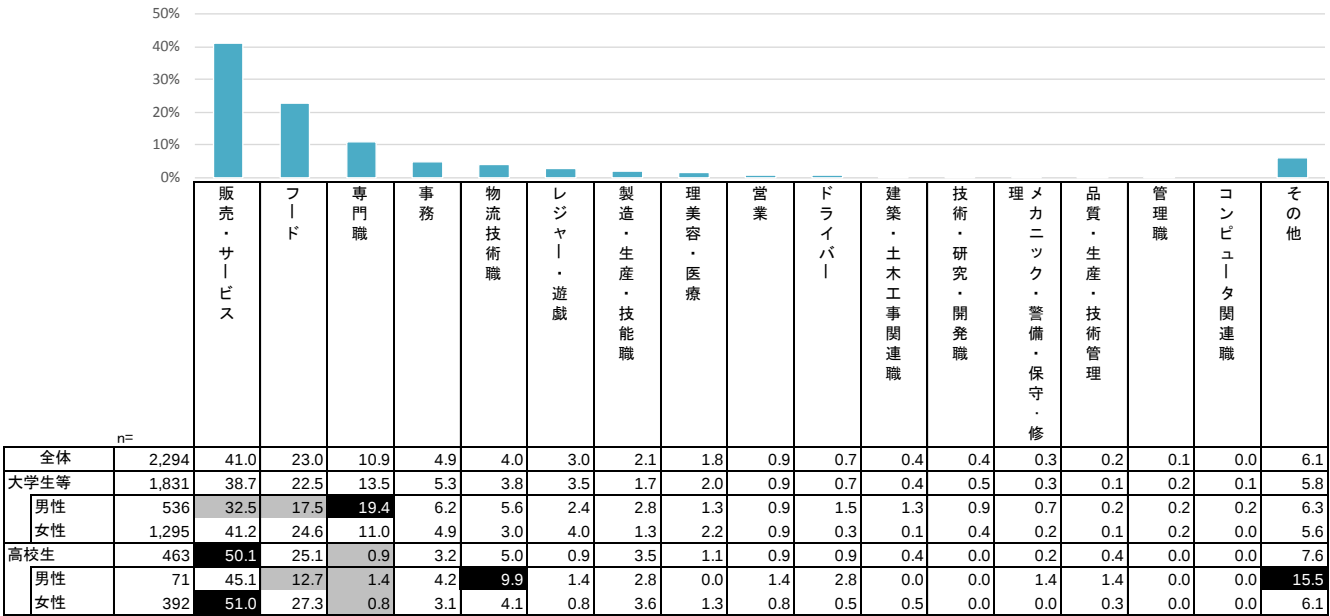
4-3 1年以内の仕事の業種（単一回答）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】

アルバイト・パート等経験者にその仕事の業種を聞くと、大学生等では「飲食関連業」「塾、予備校、各種学校」、高校生では「飲食関連業」「コンビニエンスストア」が多くなっている。探した仕事の業種（p.14）と比較すると、上位の項目はおおむね共通しているが、「塾、予備校、各種学校」や「各種サービス業」の順位が上がっている。



4-4 1年以内の仕事の職種（大分類）（単一回答）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】

アルバイト・パート等経験者にその仕事の職種を聞くと、大学生等では「販売・サービス」「フード」「専門職」（家庭教師などを含む）、高校生では「販売・サービス」「フード」などが上位にあがった。上位の項目は、探した仕事の職種（大分類）（p.15）と共通している。



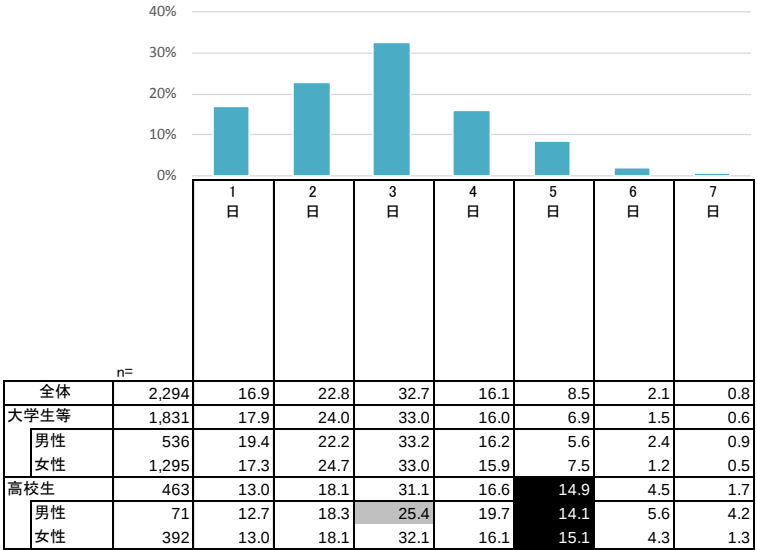
4-5 1年以内の仕事の職種（小分類）（単一回答）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】

職種をより細かい分類で見ると、下の表のようになった。（上位15項目のみ。）大学生等では「ホールスタッフ（飲食店のウェ이터・ウェイトレス）」「塾講師、家庭教師、採点、通信教育」「コンビニ・スーパー店員」が、高校生では「コンビニ・スーパー店員」「ファーストフード店店員」「ホールスタッフ（飲食店のウェ이터・ウェイトレス）」が上位にあがっている。

大学生等（n=1,831）	（%）	高校生（n=463）	（%）
ホールスタッフ（飲食店のウェ이터・ウェイトレス）	16.9	コンビニ・スーパー店員	17.9
塾講師、家庭教師、採点、通信教育	12.6	ファーストフード店店員	15.1
コンビニ・スーパー店員	11.7	ホールスタッフ（飲食店のウェ이터・ウェイトレス）	14.9
その他販売店員	8.5	その他販売店員	7.6
ファーストフード店店員	6.3	その他フード関連（洗い場、レジなど）	6.3
一般事務、スタッフ職	4.5	在庫・商品管理、構内物流作業	5.0
在庫・商品管理、構内物流作業	3.8	調理人、コック	3.9
その他フード関連（洗い場、レジなど）	3.5	弁当・惣菜店店員	3.2
イベントスタッフ（ナレーター含む）	3.2	一般事務、スタッフ職	2.8
調理人、コック	2.1	食品製造・加工（工場）	2.2
弁当・惣菜店店員	2.1	イベントスタッフ（ナレーター含む）	1.9
ホールスタッフ（カラオケ、ゲームセンター、パチンコなど）	1.6	遊園地、テーマパークのスタッフ	1.9
衣類販売（アパレル）	1.6	製造・組立・加工作業（工場）	1.3
雑貨・小物販売	1.5	農耕作業、造園職、養畜作業、林業、漁業作業	0.9
宿泊施設（ホテル、旅館など）のスタッフ	1.3	衣類販売／清掃、ビルメンテナンス／医療関連／営業	0.6

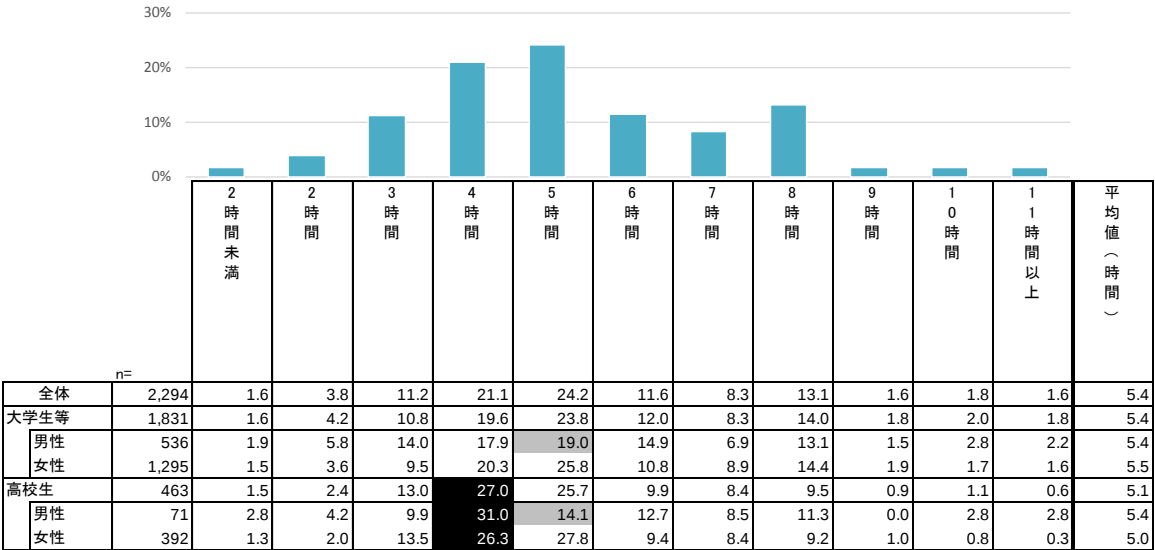
4-6 1年以内の仕事の勤務日数（週あたり）（単一回答）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】

アルバイト・パート等経験者に週あたり何日働いていたかを聞くと、「3日」との回答が約3割で最も多く、次いで「2日」が約2割だった。探した仕事の勤務日数（週あたり）（p.16）と比較すると、「5日」が少なく、それ以外はおおむね同じになっている。



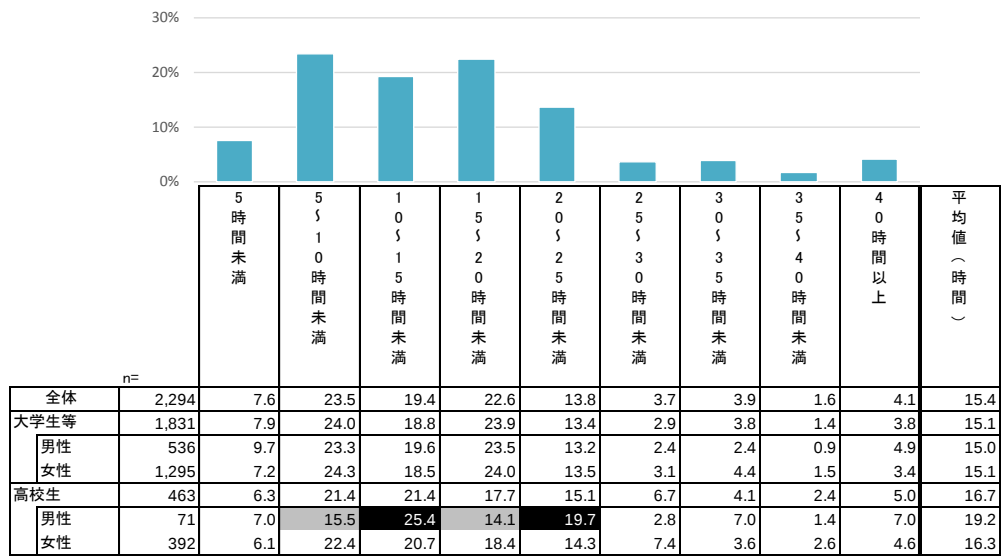
4-7 1年以内の仕事の勤務時間（1日あたり）（数値回答）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】

1日あたりの勤務時間は、「5時間」が24.2%、「4時間」が21.1%。「8時間」という回答も13.1%あった。探した仕事の勤務時間（1日あたり）（p.17）と比べると、「2時間未満」「8時間」は少なく、「4時間」「7時間」は多くなっている。



4-8 1年以内の仕事の勤務時間（週あたり）（数値回答※）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】

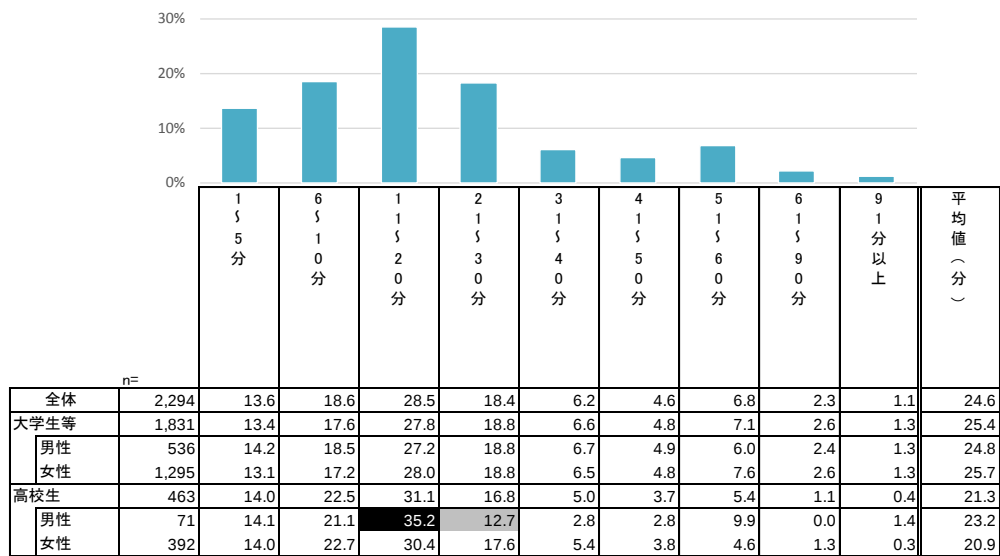
週あたりの勤務日数と1日あたりの勤務時間から、週あたりの勤務時間を算出した。5～20時間程度が多くなっている。探した仕事の勤務時間（週あたり）（p.17）と比較すると、「5時間未満」「40時間以上」は少なく、「15～20時間未満」「20～25時間未満」はやや多くなっている。



※週あたりの勤務日数と1日あたりの勤務時間から、週あたりの勤務時間を算出

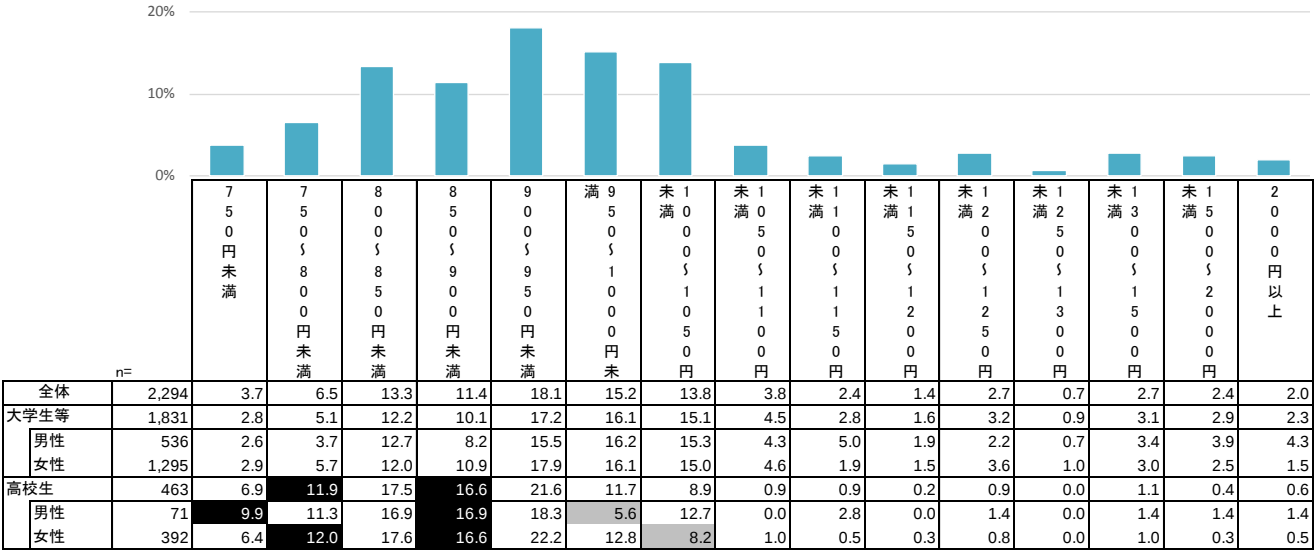
4-9 1年以内の仕事の通勤時間（数値回答）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】

通勤時間は、「11～20分」28.5%、「6～10分」18.6%、「21～30分」18.4%。家や学校の近くで働く人が多いと推測される。探した仕事の通勤時間（p.18）では「21～30分」が最も多かったが、実際の通勤時間では「11～20分」が最も多くなっている。



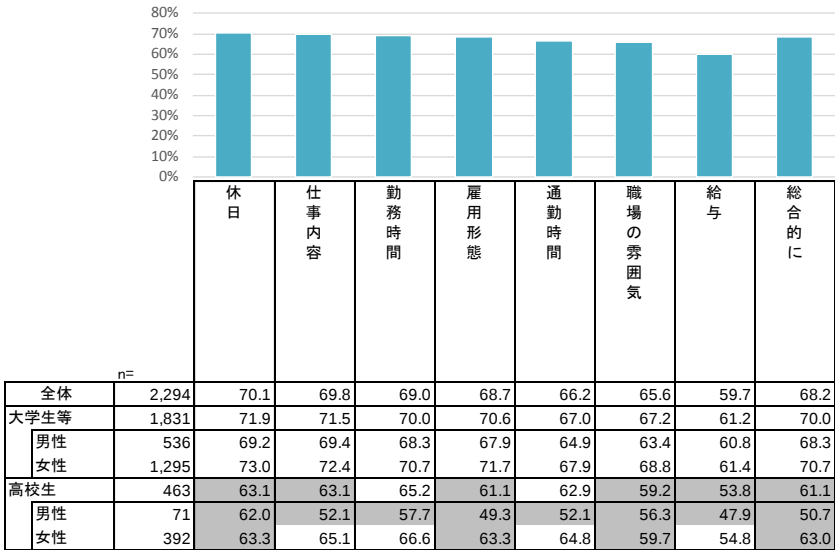
4-10 1年以内の仕事の時給 （単一回答）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】

アルバイト・パートなどで働いていた人の時給は、「900～950円未満」が18.1%、「950～1000円未満」が15.2%など。探した仕事の最低時給（p.18）と比較するとやや下がるが、大きな乖離はないと考えられる。



4-11 1年以内の仕事の満足度 （単一回答※）【対象者：1年以内／仕事探し当時就業者】

仕事への満足度は、多くの項目で「とても満足していた」または「まあ満足していた」とした割合が約7割にのぼった。これは、2017年度調査の全体の数値よりも高い。アルバイト・パートをしている学生は事前にイメージしていた働き方ができている場合が多く、満足度が高いのではないだろうか。



※「とても満足していた」「まあ満足していた」「どちらともいえない」「やや不満であった」「とても不満であった」のうち、「とても満足していた」「まあ満足していた」の割合